

受付番号

62

許可番号

大歯医倫 第 111156 号

研究課題名

骨格性下顎前突症患者の咬合平面に対する上下顎中切歯歯軸の特徴について

研究責任者

松本 尚之

申請者

飯田 拓二

研究終了日

2023 年 3 月 31 日

所属

歯科矯正学講座

所属

歯科矯正学講座

職名

主任教授

職名

助教

申請の概要

矯正治療計画において従来の方法では上下顎の垂直的前後的位置異常を有する患者、特に顎変形症患者では中切歯の移動距離および角度が大きくなる傾向があり、治療過程および予後に支障がでる場合がある。これらの原因の 1 つに標準から逸脱した顎顔面形態における中切歯の位置を平均的な顎顔面形態において目標設定していることが考えられる。垂直的前後的に異なる程度で分類した顎顔面形態それぞれの中切歯の位置目標が必要とされる。

そこで、本研究では、満 20 歳以上の骨格性下顎前突症を有する顎変形症患者（男女は問わない）の初診時正面および側面頭部エックス線規格写真それぞれ 30 枚を用いて、上下顎骨体の垂直的および前後的位置関係が著しく異なった顎顔面形態について分類し、それぞれの上顎中切歯傾斜度の特徴について検討することを目的とする。

顎顔面を形態別にそれぞれの上顎中切歯の位置目標を設定することにより、効率的に安全に治療がなされ、予後安定的な治療が可能になるものと期待される。